

日中友好新聞

府連通信

2011年7月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail: jcfa@jst8.so-net.ne.jp
 ホームページ
<http://www005.uop.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

友好協力と相互理解を深め

市民に見える活動を・府連大会開

七月一日(日)此花会館で第五七回大阪府連大会が三七名の参加で開かれました。

渡辺武会長の開会あいさつで大会の議事が始まりました。来賓の日本ユーラシア協会大阪府支部連合理事長・榊正明さんが「困難・複雑な状況の中、ロマンある友好運動を協力・連携してすすめよう」兵庫県連会長・

前田清さんは「中国革命はすばらしいが、いま格差や腐敗など多くの問題をかかえている。マ



日本ユーラシア協会大阪・榊正明理事長(上) 兵庫県連・前田清会長(下)が来賓あいさつ

スコミの反中国論調に負けないためにも、これらの問題に正しく対応しなければならぬ。県民に影響を広げるため、日中友好六〇年のブックレットを普及している「滋賀県支部事務局長の市村祥三さんは「漫画展の成功と初めての七・七行動など、市民に見える活動を展開していきます。草津・彦根など五つの班と直属会員で組織強化にも取り

組んでいる。五〇年表彰を受けましたが、四八年は大阪で、二年は滋賀県で活動しています」とあいさつされました。

中国駐大阪・鄭祥林総領事からは「日中間の友好交流と相互理解がさらに深まり、アジアと世界の平和が一層促進されることを期待しています」とのメッセージが紹介されました。

支部組織の強化や戦争展など討

辛亥革命から百年、柳条湖事

来年は国交回復四〇年

元気な大阪府連に 会長・渡辺武

来年は日中国交回復四〇年、私たちの組織をますます大きくしていかななくてはと考えます。



には起立をする、それに反する人は処罰するといふ条例が、ほとんど審議もせずに強行されました。(小淵内閣は国家と国旗を決めましたが、けっして強制するものではないと答弁)

三月十一日におきた東日本大地震と原発事故が解決のメドさえついていません。二万人余の方々が死亡あるいは行方不明になっています。協会も宮城、岩手、福島から、かなりの被害を受けたと報告されています。

六月三日大阪府議会において、教職員が君が代を斉唱するとき

ろでは、今後実施されかねません。心ある人、アジアの平和のためにがんばってきた人たちと

件から八十年の節目の年を、草の根から日中友好運動をいっそう発展させ、支部組織の強化発展、700名の府連組織の建設、太極拳教室や中国語講座など文化活動のとりくみ、八月に開かれる「平和のための戦争展」を成功させようと、片山理事長から提案されました。



会場では五〇年会員・上垣真木子さんと三〇年会員・片山悦子さんへ表彰状などが渡辺会長から贈られました。(2面に続く)

ともに、この問題ではがんばりたいとおもいます。

昨年尖閣問題では日中の国民感情が悪化しましたが、今回の大震災時には物心両面で中国から大きな支援があり、日本人の良識ある態度を見て、大きく変化がおこり少なからず改善されてきています。

全国大会では組織を大きく、二万人にしよう決めました。大阪ではまず700人に、現在は一進一退ですが、皆さんのさままなつながりをいかして、元気の大阪府連にしていきますと思っています。(あいさつ要旨)

2011平和のための戦争展

柳条湖事件80周年・日中アヘン戦争
 写真展・パネル・戦時品展示・ビデオ上映など
 8/18(木)~20(土)・10:00~19:00
 (20日は16:00まで)
 梅田茶屋町・阪急北ビル4階・日中文化センター
 連絡先: 大阪府連06-6372-8131

日中友好・第43回

全国きりえコンクール秀作作品展

8/17(水)~28(日) 13:00~17:00
 8/22(月)・8/23(火)は休み・入場無料
 会場: 大阪きりえセンター・大証ビル205
 (北区天神橋1-19-15・TEL: 06-6354-0102)
 主催: 日中友好協会大阪府連合会

府連大会代議員の発言から

各支部・多彩な行事を展

府連大会での発言要旨です。
西支部の稲田雪男さん

「六〇年安保のころ西区で入会し、五〇年会員の表彰をうけまし、五〇年会員の表彰をうけまし、中国の文化大革命で協会の困難な時期を、きりえの普及活動を中心に活動してきました。きりえも美術界で認められるようになり、これからも年賀状・干支色紙などの講習会をさせていただきます」

堺支部の荒崎博さん

「中国で日本語教師をしてきた准会員の方と、福建省との村ぐるみの交流会を行っています」

門真支部の中村健二さん

「今年も梅狩りに十二名で行つてきました。在日外国人の支援活動も行っています。会員拡大では苦勞しています」

西支部の平松悦雄さん

「太極拳以外にも毎月行事を行なう努力をしています。一月はミニ文化祭を文化教室三部屋を使つて行いました。参加者がそれぞれ持っている特技である、詩吟や歌・パソコン・中国語・書道・絵画など、太極拳のトークショーを昼食会をはさんで行いました」

渡辺武会長と新役員を選出し、二部の祝賀会では、支部での行事

山川博支部長(敬称略・順不同)

西区九条駅前で不再戦・宣伝行動

七月七日の盧溝橋事件記念日には、毎年宣伝行動を行なっています。今年も七日の淀屋橋での宣伝が雨で中止となり、十二日、西支部の六名が参加して西区の地下鉄九条駅前小雨降る中、マイク宣伝とビラ配り



を行ないました。女の子が話しかけてくる場面もあり、柳条湖事件から八〇年、中国への侵略戦争を反面教師として、過去の歴史に学び、平和で友好的な両国関係を築きましょうと訴えました。

日本中国友好協会



五〇年表彰の稲田雪男さん
の取り組みなど、苦勞話や本音のトークで盛り上がりました。
各団体からのメッセージ
中国駐大阪・鄭祥林総領事、大阪府保険医協会・高木英司理事長、日本ベトナム友好協会大阪府連合会・梅田章二会長、日本コリア協会大阪・飯田光徳理事長、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部・柳瀬精會長、関西合同法律事務所、京橋共同法律事務所、全大阪労働組合総連合・川辺和宏議長、大阪自治体労働組合総連合・小国治執行委員長代理、大阪府立高等学校教職員組合・志摩毅執行委員長、日本共産党・宮本たけし衆議院議員、大阪府委員会・清水ただし国民運動本部長、大阪市会議員団・北山良三団長、日本中国友好協会・長尾光之會長、東京都連合会・石子順會長、愛知県連合会・石川賢作會長、京都府連合会、和歌山県連合会・橋爪利次會長、奈良支部・

日米開戦七十年のハワイへ

真珠湾・アリゾナ記念館な

今年満州事変(柳条湖事件)八十年、真珠湾攻撃から七十年です。その真珠湾で沈んだ船や降伏調印した船、終戦時には対馬沖にいた潜水艦等を見学してきました。
真珠湾に沈んだ船は引き上げることが出来ず、その残骸の海上にアリゾナ記念館がつくられ、アメリカの人たちはハワイに来れば大半の人が早朝から訪れるそうです。時あたかも夏休み(五月下旬〜三ヶ月)に入り、学生たちも多く見学していました。

午前九時には千人が入館、日本人は一桁ぐらいです。真珠湾攻撃の映像を観てから、船に乗ってアリゾナ記念館で沈んだ船の残骸を見ました。この記念館は、二度と再び戦争を起こさず、平和を願ってつくられました。日中友好協会が訴えている不再戦の運動と、十二分に手を結ぶことが出来る内容ですが、戦後アメリカがやっていることは、間違ったことではないかと訴えた。

公園に展示してある人間魚雷『KAITEN』の説明を受けた後、太平洋戦争から沖繩戦や朝鮮戦争、そして湾岸戦争へと転戦し、日本が降伏調印したミズリー号を見学。沖繩戦では神風特攻機の体当たりをうけ、へこんだ後がそのままになっていました。亡くなった十九歳の日本パイロット兵の、米側による葬儀写真を見ると、何とも言えない温かさを感じました。

湾岸戦争ではトマホークを三発発射しており、そのスイッチを見たときには寒気がし、この一回押すごとにどれだけの犠牲がいられたかと思うと、どんなことがあっても、戦争ではなく話し合いで平和的に進んでほしいと願わずにはおれません。(西支部・平松悦雄)



沈んでいるアリゾナ号の上に祈念館(上)
降伏調印したミズローリー号(下)